

脳震盪後の理学療法評価とマネジメント

脳震盪はスポーツ外傷だけでなく、交通事故や転倒など、あらゆる年齢・場面で起こりうる傷害です。しかし、その後の理学療法に自信が持てないと不安を感じている人も多いのではないのでしょうか。

本講習会では、ニュージーランドで脳震盪管理教育を牽引してきたDusty QuinnとBronagh Quinnを講師にお迎えします。

2日間で、脳震盪の病態生理から頸椎・眼球運動・前庭機能・バランスの評価、そして実践的なリハビリテーション戦略までを体系的に学びます。幅広い領域で役立つ内容です。

BRONAGH QUINN



1988年に北アイルランドで理学療法士の資格を取得。1990年にニュージーランドへ移住し、「めまい」の治療を専門としている。前庭リハビリや脳震盪管理の高度な知識を持ち、呼吸法やトラウマケアを融合した多角的な診療を提供している。

6年前から理学療法士向けの脳震盪管理コースを指導するほか、臨床指導者として後進の育成にも尽力している。

DUSTY QUINN



1988年にアルスター大学を卒業し、イギリス・ニュージーランドの病院勤務を経て1998年から25年間「Back in Motion」のディレクターを務めた。30年以上プロラグビー等の現場で活躍し、オタゴ大学で脳震盪管理などの教育を担当。

ニュージーランド理学療法士協会の終身会員で、2017年にOMPTを取得後、2024年7月から現在に至るまでIFOMPTの理事を務めている。

開催場所

東京都立大学
荒川キャンパス
東京都荒川区東尾久7丁目2-10

開催日時

2026.9.11 金 9:15
18:00
12 土 8:30
17:15

参加費用

一般の方：73,000円
JAOMPT会員：70,000円

お申し込みはこちらから

お申し込み

右側のQRコードか下記URLにアクセスしてください

<https://forms.gle/avYmStr4W2nCcXLeA>

お問い合わせ先

足立慶友整形外科/東京都立大学大学院
大塚拓弥（おおつか たくや）
Email: otsuka-takuya@ed.tmu.ac.jp

